

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名 世紀東急工業株式会社
 コード番号 1898 URL <http://www.seikitokyu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

(氏名) 佐伯 清之
 (氏名) 古川 司

TEL 03-3434-3256

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	9,156	—	△1,180	—	△1,259	—	△1,299	—
20年3月期第1四半期	8,975	—	△692	—	△786	—	△808	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△9.30	—
20年3月期第1四半期	△5.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	39,729	3,499	3,499	4,780	8.8	△44.66
20年3月期	49,237	4,780	4,780	—	9.7	△36.43

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 3,499百万円 20年3月期 4,780百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	—	0.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	24,470	—	△740	—	△910	—	△1,020	—	—
通期	68,400	△3.9	800	△2.8	440	△10.8	260	15.6	1.83

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無
- (注) 詳細は2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	142,853,965株	20年3月期	139,853,965株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	462,702株	20年3月期	158,922株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	139,824,839株	20年3月期第1四半期	139,712,350株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては、現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国経済の減速や資源価格高騰の影響が広がるなか、個人消費や設備投資は伸び悩み、また企業収益が減少に転じるなど、景気は先行き不透明感を強めながら推移いたしました。

道路建設業界におきましても、公共建設投資の縮小に伴う競争激化に加え、アスファルトをはじめとする原材料価格の上昇が続くなど、事業環境は引き続き厳しい状況となりました。

このような情勢のもと、当社グループでは、収益の源泉となる工事受注の確保や舗装用資材の販売促進等に全力を挙げて取り組むとともに、業務効率のさらなる向上に努めるなど、グループ一丸となって業績の向上を図ってまいりました。

その結果、当社グループの業績につきましては、受注高は137億23百万円、売上高は91億56百万円、経常損失は12億59百万円、四半期純損失は12億99百万円となりました。

なお、建設事業においては通常の形態として工事の完成引渡しが第4四半期に集中するため、当社グループにおきましては、第1四半期から第3四半期に比べ、第4四半期の売上が占める割合が相対的に高く、業績は季節的に大きく変動いたします。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産の状況につきましては、固定資産は前連結会計年度末と比較し59百万円の増加となりましたが、売上債権の減少などにより流動資産は95億68百万円の減少となり、当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して95億8百万円減少し、397億29百万円となりました。

一方、負債の状況につきましては、流動負債は仕入債務の減少などにより前連結会計年度末と比較し78億円の減少となり、また長期借入金の一部返済などにより固定負債が4億26百万円減少いたしました結果、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末と比較して82億27百万円減少し、362億30百万円となりました。

また、当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、四半期純損失12億99百万円を計上したことにより、前連結会計年度末と比べて12億81百万円減少し、34億99百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

なお、平成21年3月期の業績予想につきましては、発行済普通株式総数の増加により1株当たり情報にかかる数値を変更いたしておりますが、その他の業績予想数値については、平成20年5月14日公表時から変更いたしておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間より適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に変更しております。この変更に伴う、損益へ与える影響は軽微であります。

(追加情報)

当社及び当社連結子会社は、減価償却資産の耐用年数等に関する平成20年度法人税法の改正を契機として、機械装置の耐用年数について見直しを行い、当第1四半期連結会計期間より改正後の法人税法に基づく耐用年数を適用しております。これによる損益へ与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	970	819
受取手形・完成工事未収入金等	10,254	24,075
未成工事支出金	5,463	3,748
材料貯蔵品	454	426
その他	5,279	2,957
貸倒引当金	△ 107	△ 142
流動資産合計	22,316	31,884
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,570	6,547
機械、運搬具及び工具器具備品	15,316	15,418
土地	12,087	12,087
建設仮勘定	49	30
減価償却累計額	△ 17,765	△ 17,789
有形固定資産合計	16,258	16,294
無形固定資産	170	176
投資その他の資産		
その他	1,798	1,608
貸倒引当金	△ 814	△ 725
投資その他の資産合計	983	882
固定資産合計	17,413	17,353
資産合計	39,729	49,237

（単位：百万円）

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	17,043	25,295
短期借入金	1,000	1,372
未払法人税等	25	33
未成工事受入金	2,874	1,989
完成工事補償引当金	88	81
工事損失引当金	122	11
賞与引当金	138	263
その他	636	683
流動負債合計	21,930	29,730
固定負債		
長期借入金	11,165	11,665
退職給付引当金	3,103	3,031
その他	31	30
固定負債合計	14,300	14,726
負債合計	36,230	44,457
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	1,550	1,550
利益剰余金	△ 103	1,196
自己株式	△ 18	△ 17
株主資本合計	3,429	4,729
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	69	51
評価・換算差額等合計	69	51
純資産合計	3,499	4,780
負債純資産合計	39,729	49,237

(2) 四半期連結損益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	9,156
売上原価	9,146
売上総利益	9
販売費及び一般管理費	1,190
営業損失(△)	△ 1,180
営業外収益	
土地賃貸料	4
受取遅延利息	6
雑収入	7
営業外収益合計	17
営業外費用	
支払利息	83
雑支出	12
営業外費用合計	96
経常損失(△)	△ 1,259
特別利益	
貸倒引当金戻入額	4
ゴルフ会員権償還益	1
特別利益合計	6
特別損失	
固定資産売却損	6
事業所整理損	12
工事違約金	7
その他	1
特別損失合計	27
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 1,279
法人税、住民税及び事業税	19
四半期純損失(△)	△ 1,299

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

1. 前四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

科 目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	8,975
II 売上原価	8,531
売上総利益	444
III 販売費及び一般管理費	1,136
営業利益	△692
IV 営業外収益	10
V 営業外費用	104
経常利益	△786
VI 特別利益	11
VII 特別損失	18
税金等調整前四半期純利益	△793
税金費用	14
四半期純利益	△808

